

味覚授業を全国で実践

しまむら
島村みつはる
光治さん(39)

レモン汁を飲んでも、口の中には甘さが。舌にある味蕾を刺激し、酸味を甘く感じさせるアフリカ原産の植物「ミラクルフルーツ」の力だ。そんな不思議な体験をしてみらおうと、ミラクルフルーツの赤い実の成分を仕込んだ錠剤持参で学校や公民館などを訪問。これまでに計四万二千人に味覚授業を行った。

秋田県生まれで植物好きが高じて、中学時代は家で食虫植物を育

この人

てた。高専一年時、ミラクルフルーツを本で知り、東京まで出向いて苗などを入手、温室で生育した。名古屋の企業に就職し、愛知県内に暮らすようになった二〇〇一年、園芸仲間の誘いで同県知多市でミラクルフルーツを紹介。好評を呼んで授業の依頼が相次ぎ、休日を利用して全国へ。日本福祉大では、客員研究所員として味覚と植物の研究を進めている。

現代人の食生活の変化で、味覚障害者が増えているという。授業では、甘みを感じさせなくするインド原産の植物「ギムネマ」の葉も持ち込み、チョコレートを口に入れても何も感じない体験も。「味覚のありがたさや、面白さを広めたい」。不思議な植物を通じて食育の大切さを訴える。(安田功)